

《乳癌の抗がん剤療法》

1 AC 1サイクル=21日間

催吐性リスク **高度**

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg,2,3日目80mg			内服	●	●	●	
	生食 100 ml	プライミング				●			
1	アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg 生食 100 ml	制吐			点滴30分	●			
2	㊴㊵ドキシルピシン 生食 50 ml	壊死性	初期 60 mg/m ² 転移再発 40-60 mg/m ²	必要 不要	点滴15分	●	×	×	×
3	㊴㊵エンドキサン 生食 100 ml		初期 600 mg/m ² 転移再発500-600mg/m ²	必要 必要	点滴30分	●	×	×	×
4	生食 100 ml				点滴	●			

2 EC 1サイクル=21日間

催吐性リスク **高度**

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-21
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg,2,3日目80mg			内服	●	●	●	
	生食 100 ml	プライミング				●			
1	アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg 生食 100 ml	制吐			点滴30分	●			
2	㊴㊵㊶㊷エピルピシン 生食 50 ml	壊死性	初期 90-100 mg/m ² 転移再発60-90 mg/m ²	必要 考慮	点滴15分	●	×	×	×
3	㊴㊵エンドキサン 生食 100 ml		初期 600 mg/m ² 転移再発500-600mg/m ²	必要 必要	点滴30分	●	×	×	×
4	生食 100 ml				点滴	●			

3 CMF 1サイクル=28日間

催吐性リスク **中等度**

薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	8	14	15-28
エンドキサン錠	100 mg/日	必要	必要	内服	14 日間			×
メソトレキセート	40 mg/m ²	必要	必要	d.i.v.	●	●	×	×
フルオロウラシル	600 mg/m ²	重度考慮	重度考慮	d.i.v.	●	●	×	×

4 dose-dense EC 1サイクル=14日間

催吐性リスク **高度**

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2	3	4-14
	アプレピタントカプセル	制吐 初日125mg,2,3日目80mg			内服	●	●	●	
	生食 100 ml	プライミング				●			
1	アロキシ 0.75 mg デキサート 9.9 mg 生食 100 ml	制吐			点滴30分	●			
2	㊴㊵㊶㊷エピルピシン 生食 50 ml	壊死性	90mg/m ²	必要 考慮	点滴15分	●	×	×	×
3	㊴㊵エンドキサン 生食 100 ml		600 mg/m ²	必要 必要	点滴30分	●	×	×	×
4	生食 100 ml				点滴	●			
	ジーラスタ3.6mg(外来)				皮下注				day2 or 3 or 4

5 w/パクリタキセル 1サイクル=28日間*補助化学療法の場合4サイクル

催吐性リスク **軽度**

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	15	16-28*
1	生理食塩液 100 mL デキサート 8.25 mg ホララミン 5 mg ファモチジン 20 mg	制吐/抗アレルギー			点滴30分	●	●	●	×
2	生食 100 mL				点滴30分	●	●	●	×
3	㊰㊱㊲㊳パクリタキセル 生食 250 mL	壊死性	80-100 mg/m ²	必要 不要	点滴60分	●	●	●	×*
4	生食 100 mL				点滴	●	●	●	×

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊰ premedication ㊲ route flush ㊳ supportive therapy ㊴ Time control ㊵ washout ㊶ vesicant drug

* 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記

無断転載禁止

6 3wドセタキセル 1サイクル=21日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21
1	生食 100 ml デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分		
2	㊴ドセタキセル 生食 250 ml	壊死性 補助 75 mg/m ² 進行 60 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	×
3	生食 100 ml					●	

7 アバステン+パクリタキセル併用療法 1サイクル=28日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	15	16-28
1	生理食塩液 100 mL デキサート 8.25 mg ポラミン 5 mg ファモチジン 20 mg	制吐 /抗ア レル ギー			点滴30分	●	●	●	×
2	㊴アバステン 生食 100 mL	10 mg/kg	不明	不明	点滴90/60/30分	●	×	●	×
3	㊴㊵パクリタキセル 生食 250 mL	壊死性 90 mg/m ²	必要	不要	点滴60分	●	●	●	×
4	生食 100 mL				点滴	●	●	●	×

8 テセントリク+アブラキサン併用療法 1サイクル=28日間

催吐性リスク 軽度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	15	16-28
1	生食 100 ml	ブライミング				●	●	●	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	●	●	×
2	㊴㊶テセントリク 生食 100 mL	840 mg/body	軽度 不要	軽中 不要	点滴60/30分	●	×	●	×
3	㊵アブラキサン 生食 50 mL	壊死性 100 mg/m ²	必要	不要	点滴30分	●	●	●	×
4	生食 100 mL				点滴	●	●	●	

9 3wHER±化学療法(アンスラサイクリン系除く) 1サイクル=21日間

催吐性リスク 最小度

薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	8	15	
㊴トラスツズマブ	初回 8mg/kg	不明	不明	d.i.v. (>90)	●	×	×	3週毎投与
	2回~ 6*mg/kg			d.i.v. (>30)				
併用レジメン(アンスラサイクリン系を含むレジメンは除外)					別項のレジメン参照			

10 wHER±化学療法(アンスラサイクリン系除く) 1サイクル=7日間

催吐性リスク 最小度

術後補助の場合、HERIは1年間投与。

薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-7	
㊴トラスツズマブ	初回 4mg/kg	不明	不明	d.i.v. (>90)	●	×	毎週投与
	2回~ 2*mg/kg			d.i.v. (>30)			
併用レジメン(アンスラサイクリン系を含むレジメンは除外)					別項のレジメン項目参照		

11 パーージェタ+3wHER±化学療法 1サイクル=21日間

催吐性リスク 最小度

順	薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	2-21	
1	㊴パーージェタ	初回 840mg/body	不明	軽中 不要	d.i.v. (>60)	●	×	3週毎投与
		2回~ 420*mg/body			d.i.v. (>30)			
2	㊴トラスツズマブ	初回 8mg/kg	不明	不明	d.i.v. (>90)	●	×	3週毎投与
		2回~ 6*mg/kg			d.i.v. (>30)			
3	併用レジメン(タキサン系)					別項目のレジメン参照		

12 **カドサイラ単剤療法** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		軽度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21		
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●			
2	①②カドサイラ 生食 250 mL	3.6mg/kg	不明	不要	点滴90/30分	●	×		
3	生食 100 mL				点滴	●			

13 **Lap+Cape** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		軽度							
薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1	8	14	15-21	
タイケルブ	1250 mg/日/分1空腹時	必要	不要	内服	連日投与				
カペシタビン	下記参照	重度考慮	必要	内服	14日間		×		

14 **HAL** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		軽度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	9-21	
	生食100 mL				プライミング	●	●		
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	●	×	
2	ハラヴェン 生食 50 mL	1.4 mg/m ²	必要	必要	点滴2-5分	●	●	×	
3	生食 100 mL				点滴	●	●	×	

15 **VNB** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		最小度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	9-21	
1	生食100 mL					●	●		
2	①②③ロゼウス 生食 50 mL	壊死性 25 mg/m ²	必要	不要	点滴5分	●	●	×	
3	ソルデム1 200ml				点滴	●	●	×	

16 **GEM** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		軽度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	8	9-21	
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	●	×	
2	①②③ゲムシタピン 5%ブドウ糖液 100 mL	1250 mg/m ²	必要	考慮	点滴30分	●	●	×	
3	生食 100ml				点滴	●	●	×	

17 **3wアブラキサン** 1サイクル=21日間

催吐性リスク		軽度							
順	薬品名	投与量	肝	腎	経路・時間	1	2-21		
1	生理食塩液 100 mL デキサート 6.6 mg	制吐			点滴30分	●	×		
2	①②アブラキサン 生食 100 mL	壊死性 260 mg/m ²	必要	不要	点滴30分	●	×		
3	生食 100 mL				点滴	●	×		

18 **イブランス+フェマーラ併用療法** 1サイクル=28日間

催吐性リスク		最小度							
薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1-21	22-28			
イブランス	125 mg/body	重度考慮	不要	内服(食後)	●	×			
フェマーラ	2.5 mg/body			内服	連日内服				

薬品名の印 ㊦ filter ㊨ hydration ㊰ premedication ㊱ route flush ㊳ supportive therapy ㊴ Time control ㊵ washout ㊶ vesicant drug

* 肝腎機能の項は、指標があるものは「必要」or「不要」、明瞭でないものは「考慮」or「不明」で表記

無断転載禁止

19 イブランス+フェンロデックス併用療法 1サイクル=28日間

催吐性リスク	最小度					
薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)	1-21	22-28
イブランス	125 mg/body	重度考慮	不要	内服(食後)	●	×
フェンロデックス	250mg × 2 /body	必要	不明	I.M.(1-2)	初回、2週間後、4週間後、その後4週毎	
閉経前はLH-RHアゴニスト(リュープリン等)を併用						

20 ベージニオ+フェンロデックス併用療法

催吐性リスク	最小度					
薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)		
ベージニオ	150mg × 2 /body	重度減量	不要	内服	連日	
フェンロデックス	250mg × 2 /body	必要	不明	I.M.(1-2)	初回、2週間後、4週間後、その後4週毎	
閉経前はLH-RHアゴニスト(リュープリン等)を併用						

21 フェンロデックス

催吐性リスク	最小度					
薬品名	投与量	肝	腎	経路(分)		
フェンロデックス	250mg × 2 /body	必要	不明	I.M.(1-2)	初回、2週間後、4週間後、その後4週毎	